

第2節 水質の現状把握

1. 野洲川の水質の現状

1.1 野洲川の水質の現状

【環境基準の類型指定】

野洲川（全域）

類型 A

pH 6.5～8.5

BOD 2mg/l以下

SS 25mg/l以下

DO 7.5以上

大腸菌 1000MPN/100ml以下



水質自動監視装置



流量・水質調査

水域の範囲	類型値	達成期間	指定年月日	備考
野洲川	A	イ	昭和50年4月14日	滋賀県

1. 野洲川の水質の現状

1.1 野洲川の水質の現状

【pH(生活環境項目)】

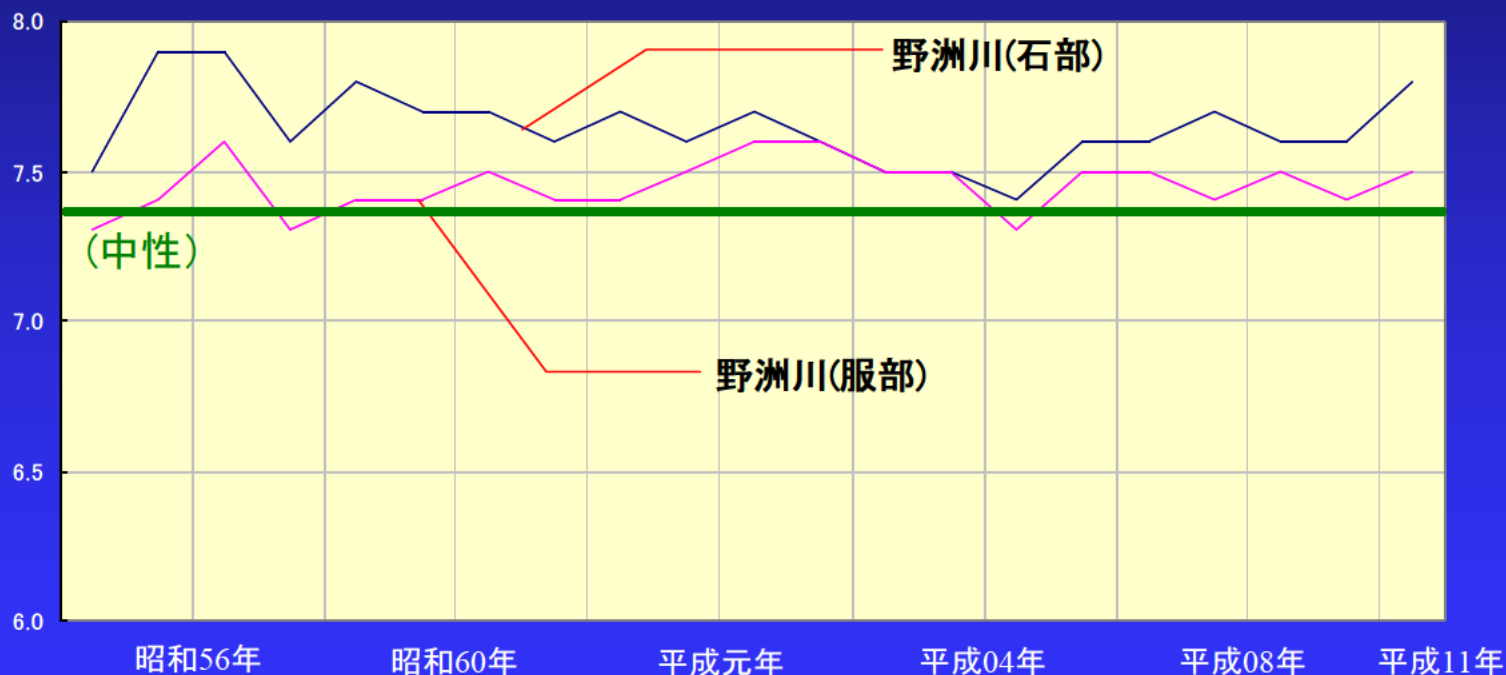
pHとは・・・

水の酸性とアルカリ性の度合いを示す指標をいいます。河川ではpH6.7～7.5が望ましいと言われています。

(アルカリ性)



(酸性)



野洲川のpHは基準地を達成しています。

1. 野洲川の水質の現状

1.1 野洲川の水質の現状

【BOD (生活健康項目)】

BODとは・・・

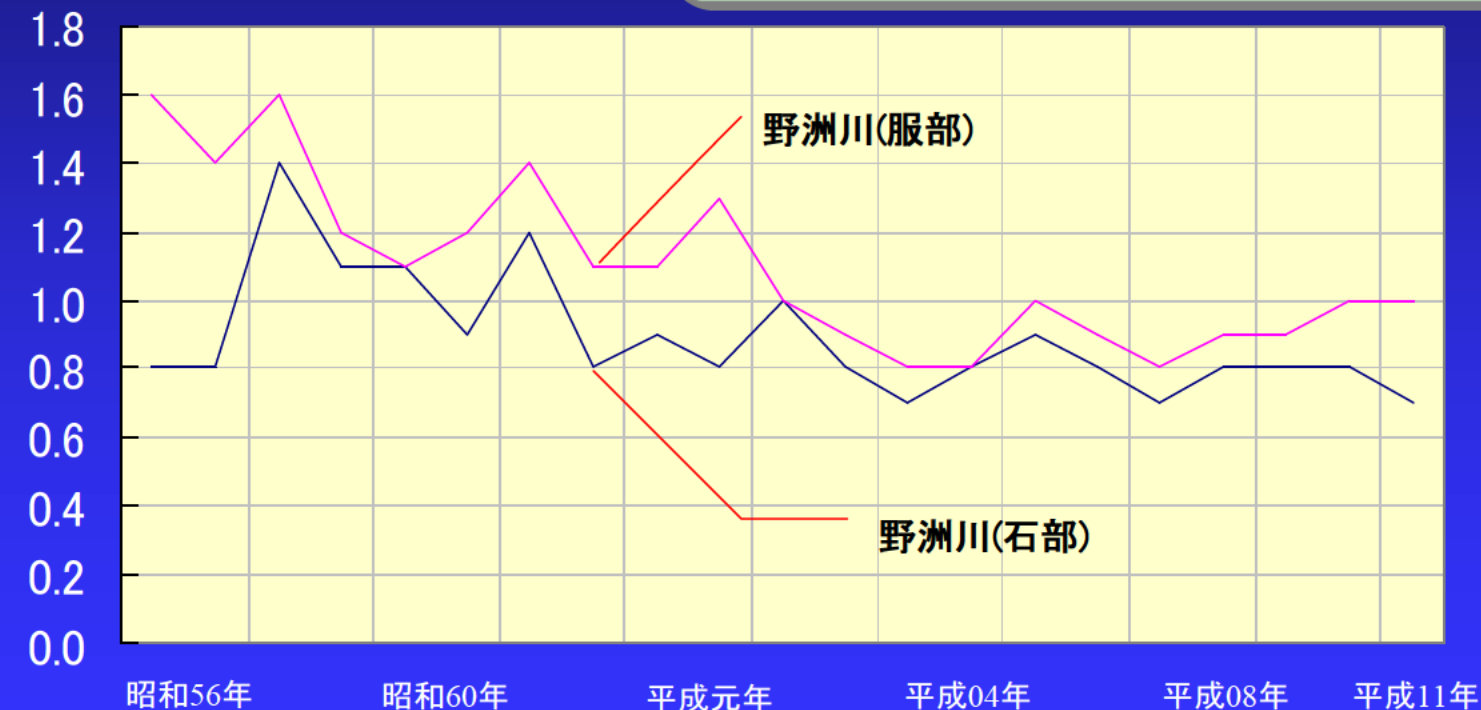
水中の比較的分解されやすい有機物が微生物によって分解される時に消費される酸素の量のことをいいます。

BODが10mg/lで悪臭が発生します。

(悪化)



(mg/l)



(良好)

野洲川の環境基準値BOD2mg/l以下を達成しています。

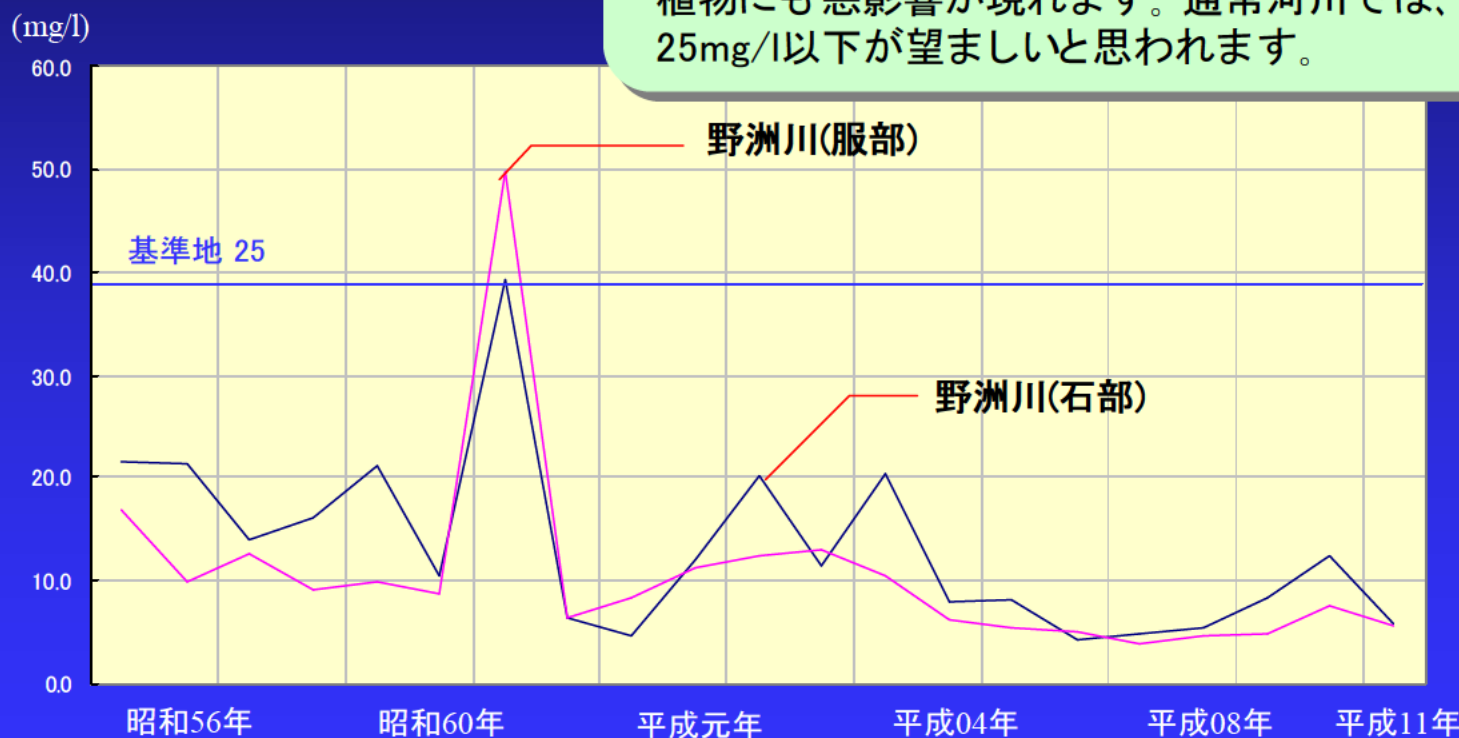
1. 野洲川の水質の現状

1.1 野洲川の水質の現状

【SS (生活環境項目)】

SSとは・・・

水中に濁している不溶解性の粒子物質のことをいいます。SSが高いと外観が悪くなる他、魚や植物にも悪影響が現れます。通常河川では、25mg/l以下が望ましいと思われま



(良好)

現在、野洲川では通常河川の一般的基準値25mg/l以下を達成しています。

1. 野洲川の水質の現状

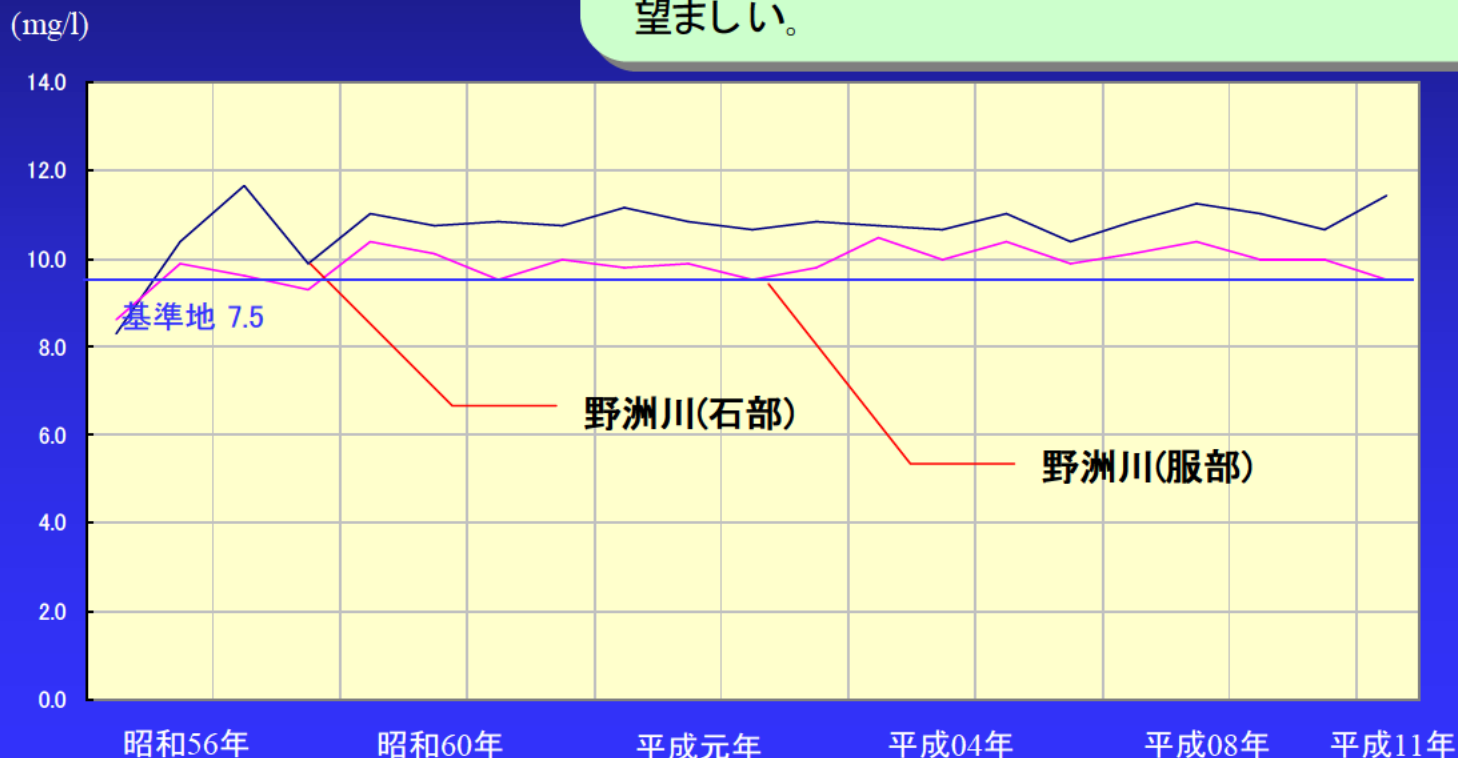
1.1 野洲川の水質の現状

【DO (生活環境項目)】

DOとは・・・

水中に溶解している酸素ガス(O₂)のことをいいます。魚介類が生存するためには3mg/l以上が必要であり、良好な状態を保つためには5mg/lが望ましい。

(良好)



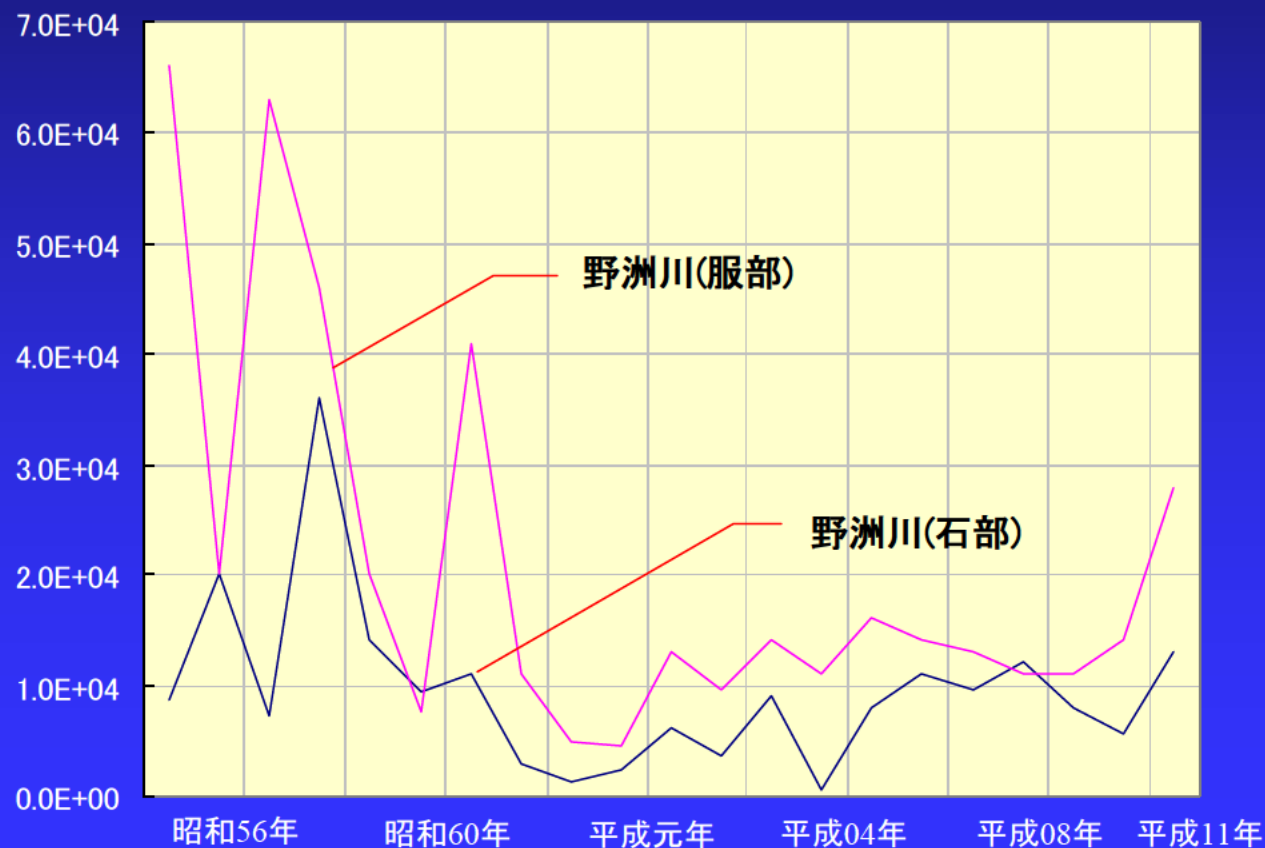
野洲川の環境基準値7.5mg/lを達成しています。

1. 野洲川の水質の現状

1.1 野洲川の水質の現状

【大腸菌（生活環境項目）】

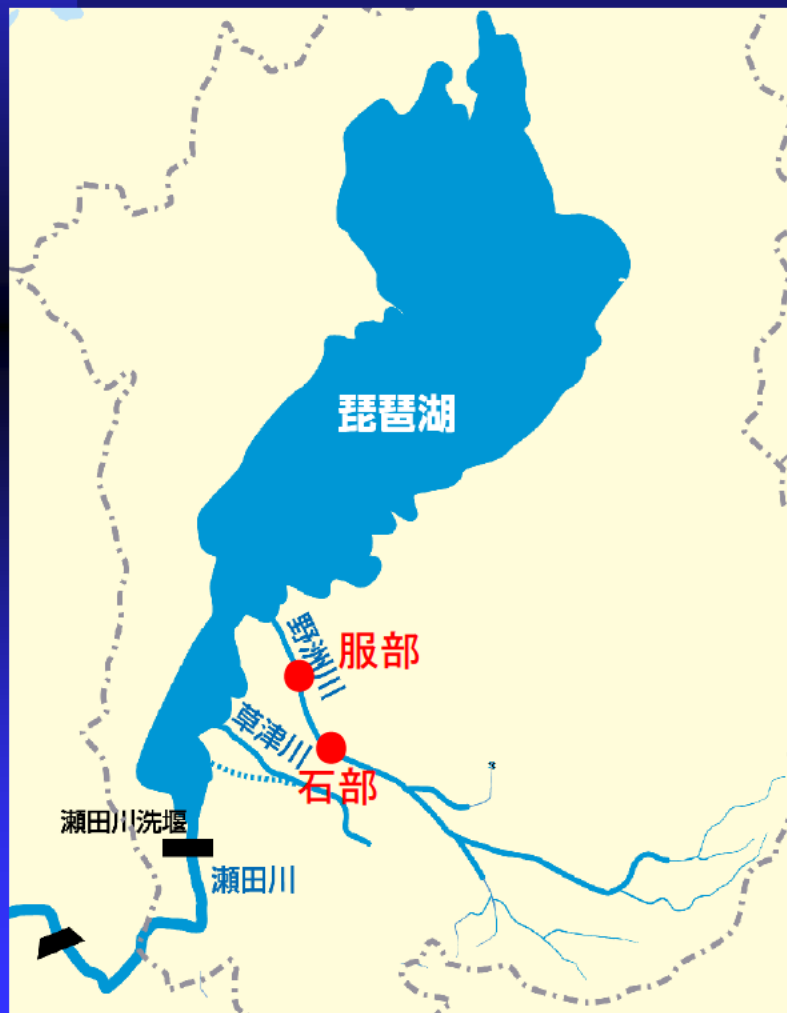
(MPN/100ml)



1. 野洲川の水質の現状

1.1 野洲川の水質の現状

【健康項目】

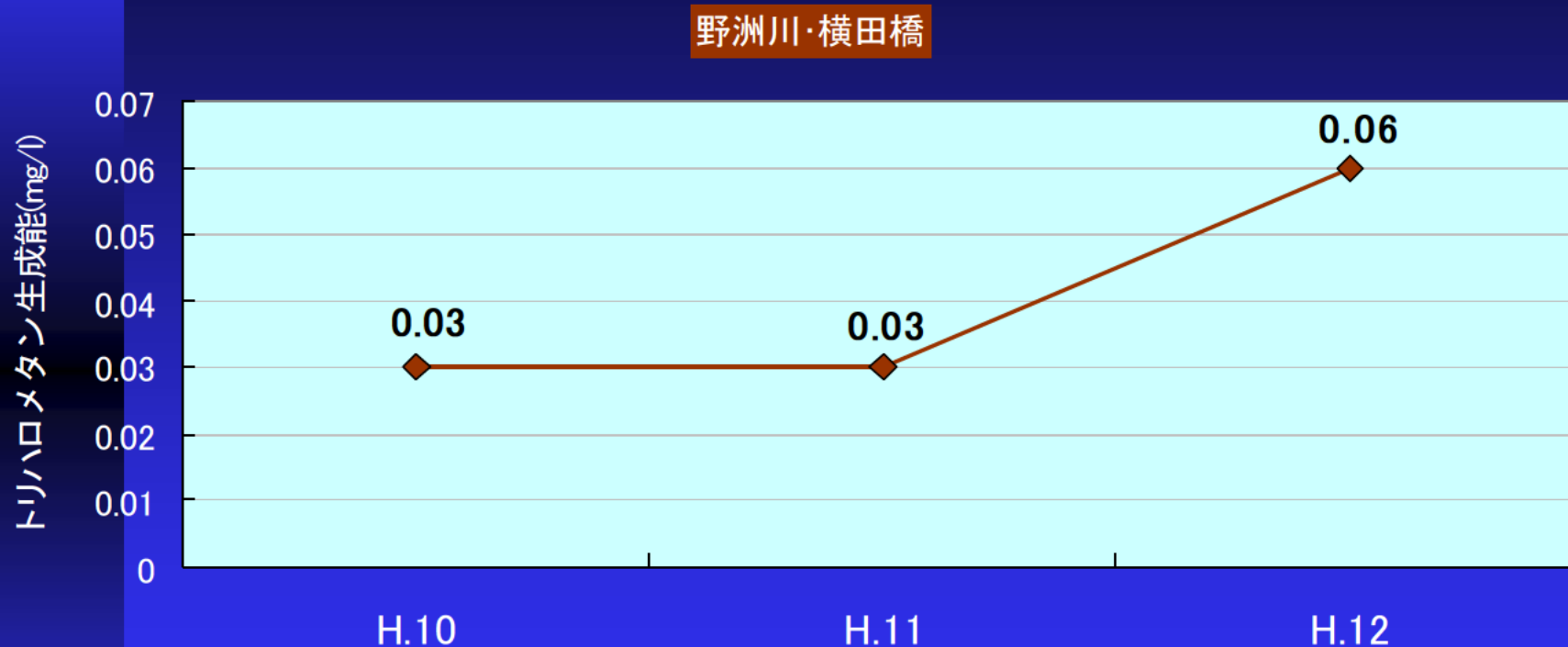


全ての環境基準地点で、健康項目の基準値を満足しています。

*ただし、H11.2に3項目が追加され、現在は計26項目となっています。

1. 野洲川の水質の現状

1.2 野洲川における総トリハロメタンの検出状況



出典：環境白書～滋賀県～

参考：水道水の水質基準は、総トリハロメタン(クロロホルム、ジプロモクロロメタン、ブromジクロロメタン、プロモホルムのそれぞれの濃度の総和)が0.1mg/l以下であり、トリハロメタン前駆物質量に関しては設定されていない。

2. 水質事故

2.1 野洲川における水質事故の発生状況及び原因

【野洲川における水質事故】

過去に重油流出等による水質事故がみられます。

水質事故記録

河川名	事故名	発生日	事故の概要	対策の概要
野洲川	重油流出	昭和54年6月15日	重油	オイルフェンス・オイルマット等により処理
	オイル流出	昭和60年10月6日	鉱物油	オイルフェンスを張り下流への流出防止
	灯油の流出	平成6年6月30日	工場からの燃料給油ポンプの故障	流下防止装置
	強酸性の水	平成6年8月11日	工場からの排水	水質調査・死亡魚の回収

※参考資料 日本河川水質年鑑
国土交通省(旧建設省河川局) 監修

2. 水質事故

2.2 通報連絡体制

